

小学校 4年 国語科

考える
想像する

×

読む
書く

育成したい
国語力

中心点を捉え、場面の移り変わりや内容の展開、登場人物の人柄を予想しながら読む。理由を明らかにし、導かれる結論を明確に書く。

ワークシート

松井さんの人柄
()
【文中から】
ページ 何行目
()
()

文型A

松井さんの人からは、だと思いま
す。それは、から分かります。

松井さんの人から
(話し合(前))

人からを表す文章の部分

(話し合いを終えて)

松井さんの人からについて
字以内でまとめてみよう。

単元名

本の世界を広げよう 「白いぼうし」

単元の流れ

第1次

・初発の感想を出し合い、
課題を設定する。

第2次 (本時)

・登場人物の人柄を読
み取る。

第3次

・いろいろな本を読
む。

第4次

・「おすすめの本」カードを
作り、友だちに紹介する。

本時の目標

叙述や描写を基に登場人物の人柄を想像しなが
ら読む。 (読む能力)

本時の流れ

導入

本時のめあてを知る。

めあて：松井さんの人からについて考えよう。

展開

松井さんの人柄を簡単な言葉で書き表す。

どの部分を基に松井さんの人柄を想像したのか、話し方や
行動など人柄を表す言葉を文中から抜き出す。

松井さんの人柄について話し合う。

- ・読み取った人柄とその根拠となる部分を「文型A」のような形で発
表する。
- ・他の人の意見を聞き、自分の考えを見つめ直す。

話し合いの後、松井さんの人柄について自分の考えや意見を 字以
内でまとめる。

まとめ

本時のまとめを行う。

国語力育成の視点

登場人物について、その人柄を読み取ることは、本の
内容をさらに深く把握する作業です。人物の話し方や行
動などを基に人柄を想像することで、より具体的な話し
合いができ、自分の考えや意見の見直しを図ることが
でき、考える力を育成することができます。根拠をもとに
意見を発表する時は、慣れるまで一定の型で発表する練
習も必要です。話し合いの後、字数制限の中でまとめを
書くことが児童の考える力を高めます。読むことと書く
ことをつなげる学習活動を組み立てていくことが大切です。

視点 ①

具体的な叙述をふまえて考えさせる
ことにより、根拠を明確にしなが
ら考えや意見を述べる力を育てます。

視点 ②

考えを簡潔にまた、明確に表すには、
まず、結論を書いて、その理由や根拠を
複数例挙します。友達の考えや意見を参
考にさせることも大切です。
自分の意見が初めと終わりで一貫性
のあるものになっているか、着目させていき
たいです。